

放射第7号線（大泉）西側区間暫定交通開放による効果

～ 開放から約6か月後の利用状況 ～

東京都が整備を進めている東京都市計画道路幹線街路放射第7号線のうち、練馬区西大泉二丁目から同区西大泉五丁目までの約1.0km（西側区間）が令和7年2月16日（日）に暫定開放しました。

交通開放後に交通量調査や地域の方々にアンケートを実施しました。開放により、下記のようなストック効果^{※1}が得られましたので、お知らせいたします。

開放後の主な効果（別紙1，2参照）

【交通量調査】

○周辺の交通が放射第7号線へ転換！

- ・開放区間では、約3,250台／11時間^{※2}の車両が通行しています。

○周辺の生活道路の交通量が減少！

- ・開放区間と並行する、したみち通りが約4割減少。主24練馬所沢線は約1割減少。
 - したみち通り（大泉第四小学校前交差点）約4,600台 ⇒ 約2,700台^{※2}
 - 主24練馬所沢線（四面塔稻荷前交差点北）約4,300台 ⇒ 約3,850台^{※2}

【アンケート調査】

○利用者（地域住民や事業者等）が整備効果を実感！

- ・利便性、安全性、快適性の向上など、多くの方が整備効果を実感しています。また約9割の方が、早期の全線開通を望んでいます。

※1 ストック効果とは、整備された社会資本が機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果です。

※2 調査日（令和7年9月8日）において、豪雨および落雷により18～19時はデータが欠損しているため、11時間交通量で比較しています。

問い合わせ先

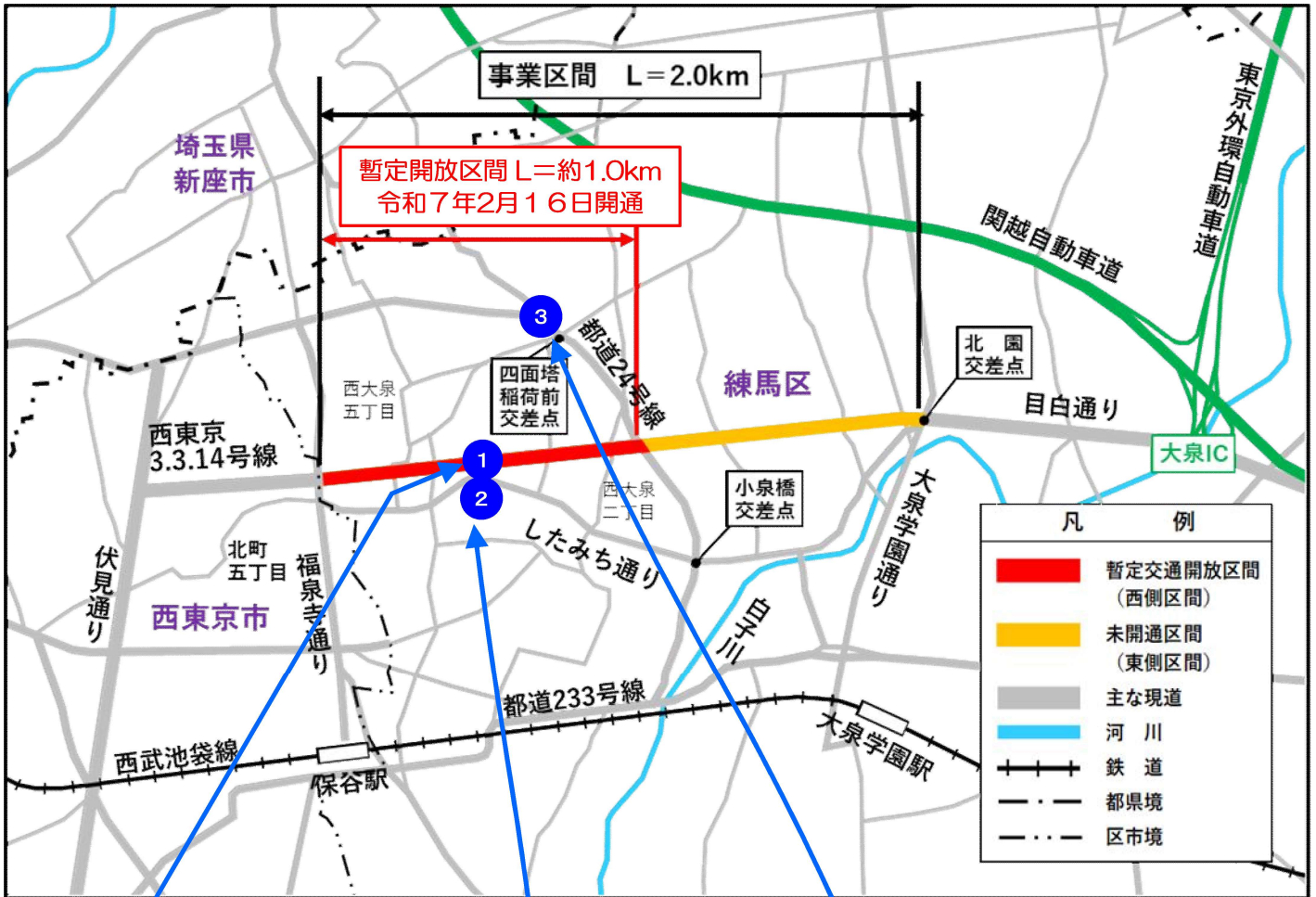
第四建設事務所 工事第一課 木密設計担当

電話 03-5978-1806

1. 放射第7号線（大泉）

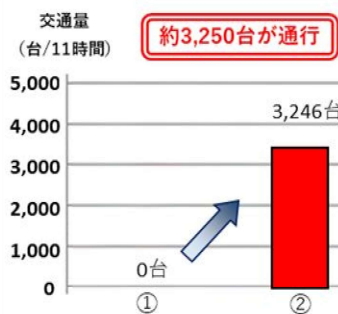
別紙 1

西側区間暫定開放から約6か月後の利用状況【交通量調査】



周辺の交通が転換！

- ① 放射第7号線の交通量
0台 → 約3,250台
放射第7号線（西大泉2丁目）



周辺の生活道路の交通量が減少！

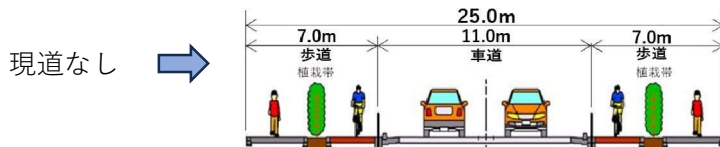
- ② 交通量が約4割減少
約4,600台 → 約2,700台
したみち通り（大泉第四小学校前交差点）



- ③ 交通量が約1割減少
約4,300台 → 約3,850台
主24練馬所沢線（四面塔稲荷前交差点北）



放射第7号線 標準断面図



【交通量等調査日】

- ① 暫定開放前 令和5年11月9日（木）
- ② 暫定開放後 令和7年9月8日（月）

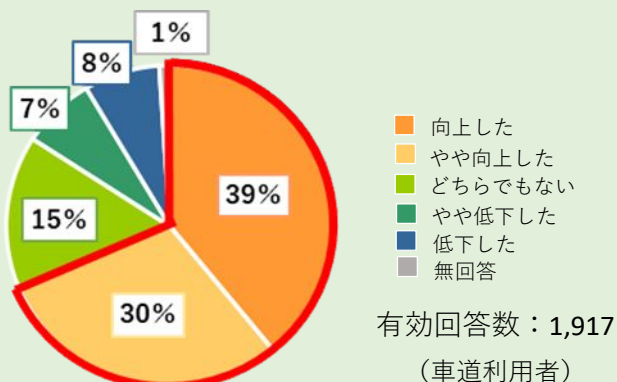
2. 地域住民・関係者の声【アンケート調査】

別紙2

開放区間の周辺にお住まいの方、事業者の方にアンケート調査を実施しました。（総回答数：2,669）

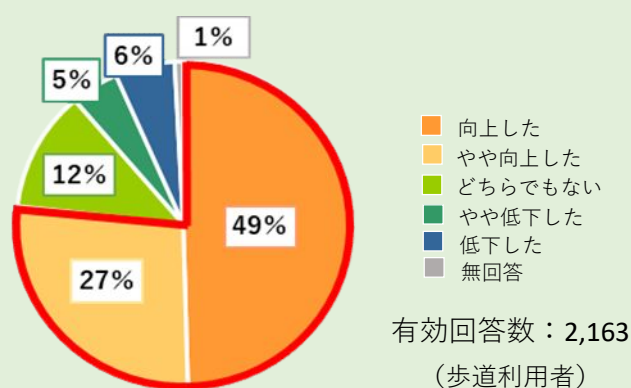
Q 『車道利用』について、利便性、安全性、快適性は向上しましたか？（自動車・バイク）

約70%の方が向上を実感！



Q 『歩道利用』について、利便性、安全性、快適性は向上しましたか？（徒歩・自転車・車椅子）

約75%の方が向上を実感！



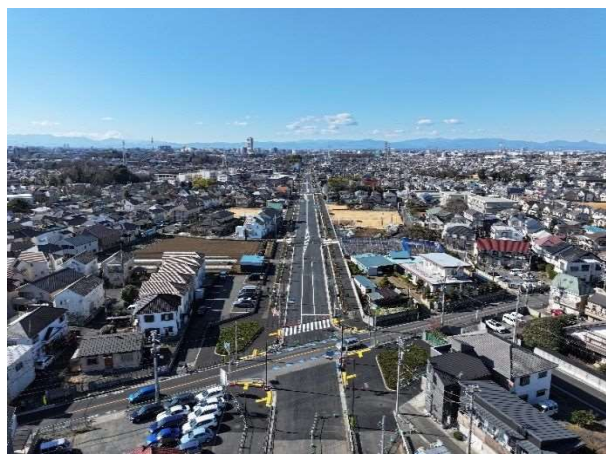
Q その他の意見

- ・したみち通りを子どもと自転車で通行することが怖かったが、今回の道が開通して安心して通行できる。
- ・福泉寺通りとの交差点に信号機が設置されておらず危険である。
(※令和7年9月17日に信号機設置済み。写真②参照)
- ・車道、歩道、自転車通行帯が広く、しっかり分離されているので安全が守られている。
防犯にも役立っていると思う。
- ・道路が広く整備され、何より災害時の避難経路や消防車両の通行がスムーズになることが大変良い。
また、幅の広い道路により火災の延焼を防ぐことも期待できると思う。
- ・植栽によって歩行者道と自転車道を分けてあり良い。広々としていて、緑もあり景観が良くなった。
- ・利便性は向上したが、道幅が広く直線であるため、車がスピード出して通過している。
- ・危険なしたみち通りの混雑緩和やさらなる利便性向上のためにも未開通区間の早期開通を望む。

【関係者の声】

【消防署】道路幅が広く、避讓車両が停まっても緊急車両が通行しやすい。また幅員も広く、
大型の車両なども駐車しやすいため、容易に消防力を集結することが可能である。

【小学校】したみち通りは狭く見通しが悪いので、自動車等の交通量が減少したことで、安全になってきて
いる。全線開通の際に横断歩道に信号機が設置されるとのことなので、早期開通を望む。
学区域内にもう1か所信号機がある横断歩道を設置していただけるとありがたい。



写真①：西側暫定開放区間の全景



写真②：福泉寺通り交差点の改良